

高円宮杯2015ホッケー日本リーグ 【女子】 第 5 節 第 9 日

開催日時 10 月 10 日 (土) 会場 日光市ホッケー場 天候 曇り

【全試合結果】

第1試合 10:00～

南都銀行SHOOTING STARS	2	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	天理大学ベアーズ
6 勝 1 分 1 敗 勝点 19				勝点 12 4 勝 0 分 4 敗

第2試合 11:40～

グラクソ・スミスクラインOrange United	1	$\begin{pmatrix} 0-1 \\ 1-1 \\ 0-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	2	山梨学院CROWNING GLORIES
3 勝 0 分 5 敗 勝点 9				勝点 15 5 勝 0 分 3 敗

第3試合 11:40～

ソニーHC BRAVIA Ladies	7	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-0 \\ 2-0 \\ 4-0 \end{pmatrix}$	0	駿河台大学LADYBIRDS
7 勝 1 分 0 敗 勝点 22				勝点 0 0 勝 0 分 8 敗

第4試合 13:50～

コカ・コーラウエストレッドスパークス	4	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 0-0 \\ 0-0 \\ 2-1 \end{pmatrix}$	1	東海学院大学
7 勝 0 分 1 敗 勝点 21				勝点 13 4 勝 1 分 3 敗

【各試合の結果・詳細】

第1試合

南都銀行SHOOTING STARS 2 $\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 1 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 0 天理大学ベアーズ

勝点 19 勝点 12
 6 勝 1 分 1 敗 4 勝 0 分 4 敗

得点	南都→10分勝山、26分小森		
戦評	<p>試合開始早々から南都のペースで試合が展開する。10分、南都はPCから#5勝山がヒットシュートを決めて先制し、1-0で第1Qが終了した。</p> <p>第2Q18分、南都は豪快なシュートもゴール枠をとらえきれず、得点することができない。その後は、両チームとも激しい攻防を繰り広げるが、シュートまでいくことができない。そんな中、26分、南都FW#20浦島の切り込みから#15小森が決め、2-0と南都がリードした。</p> <p>第3Q開始早々、天理が初めてのPCを獲得するが、得点することができない。</p> <p>第4Q、何とか得点したい天理は47分、PCを獲得するが決めることができない。一方、南都はインターセプトからシュートを打つが、天理GK#1中村のナイスセーブで追加点を挙げることができない。このまま無得点のまま、2-0で南都が勝利し、勝点19とした。</p>		
テクニカルオフィサー	竹内 芳郎	アンパイア	根岸 郁美
ジャッジ	勝又 舞・鈴木 明美・松葉 美穂		藤原 真由美

第2試合

グラクソ・スミスクラインOrange United 1 $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & -1 \\ 0 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 2 山梨学院CROWNING GLORIES

勝点 9 勝点 15
 3 勝 0 分 5 敗 5 勝 0 分 3 敗

得点	GSK→24分市山		
	山梨学院→10分狩野、30分今尾		
戦評	<p>GSKのセンターパスにより試合が開始された。試合開始早々、GSKが地元の大応援を受け攻撃を仕掛けるが、得点には至らない。その後もGSKが優位に攻撃を展開するが、10分、山梨学は一瞬のすきを突きPCを獲得し、#18狩野がタッチシュートを決め、第1Qは1-0で山梨学がリードする。</p> <p>第2Q、両者一進一退の攻防が続いたが、GSKは24分、#13伊藤のパスを受けた#15市山がゴール右下に決め、1-1の同点に追いつく。しかし、第2Q終了間際の30分、サークル内の混戦から山梨学#24今尾が押し込み、2-1の山梨学リードで第2Qを折り返す。</p> <p>ゴールを狙いたいGSKは、第3Q、第4Qも怒涛の攻撃を仕掛け、37分、40分、58分とPCを獲得するが、得点を決めることができない。ファインセーブなどで最後まで守りきった山梨学が、2-1で勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	和田 千恵子	アンパイア	西澤 英一郎
ジャッジ	福田 美由紀・植村 佳央梨・若林 美枝		穴井 高司

ホッケー日本リーグ機構

第3試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 7 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 4 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 駿河台大学LADYBIRDS

勝点 22 勝点 0

7 勝 1 分 0 敗 26 シュート数 5 0 勝 0 分 8 敗

得点	ソニー→26分早戸、32分及川、44分及川、49分林、50分金、54分及川、58分瀬川		
戦評	駿河台のセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりから優位に試合を進めるソニーが、10分、11分に連続でPCを獲得するが得点に結びつかず、第1Qは両チーム無得点のまま終了する。 第2Qに入り、駿河台が反撃し、18分、23分と決定的なチャンスをつくるが得点できず、逆にソニーが11分、右から#7小沢のセンターリングを#13早戸がタッチシュートを決め、1-0のリードで第2Qを折り返す。 第3Qもソニーが攻めたて、32分、44分にPCから#3及川が得点し、3-0と点差を広げた。 第4Qに入ってもソニーの猛攻は止まらず、49分にPCから#2林、50分にPC崩れから#9金のが得点する。更に54分、PCから#3及川がハットトリックとなる3点目をあげると、終了間際の58分にも#21瀬川がフィールドゴールを決め、7-0の大差で勝利し、勝点を22に伸ばした。		
	テクニカルオフィサー	藤村 利道	アンパイア
ジャッジ	駒田 文雄・苅谷 和代・大門 直美	押田 幸二 亀田 和美	

第4試合

コカ・コーラウエストレッドスパークス 4 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 東海学院大学

勝点 21 勝点 13

7 勝 0 分 1 敗 14 シュート数 4 4 勝 1 分 3 敗

得点	CCW→3分新井、10分西村、56分金藤、59分金藤		
	東海学院→59分高巢		
戦評	東海学のセンターパスにより試合が開始された。開始早々3分、CCWの#13加藤からのパスを#9新井がゴール左下に決め、先制する。更にCCWは10分、#5西村がリバースシュートを決め、第1Qは2-0とCCWがリードする。 第2QもCCWが優位に試合を進めるが、東海学の体を張ったディフェンス、#1井戸田のファインセーブにより得点を与えず、2-0のまま第2Qを折り返す。 第3QもCCWは攻撃の手を緩めず、何度も東海学のゴールに迫るが、厳しいディフェンスに得点することができない。 第4Q、激しい攻防を繰り返す中、CCWは56分、東海学サークル付近のFHから素早いリスタートでサークルインし、#19金藤がゴール左下に決め、3-0とする。一方、粘る東海学も59分、ゴール前の混戦から#3高巢が押し込み1点を返す。しかし、終了間際の59分、CCWの#19金藤がシュートを決め、試合を決定づける。そのままCCWが4-1で勝利し、勝点を21とした。		
	テクニカルオフィサー	関根 由美子	アンパイア
ジャッジ	木村 正直・松崎 鼓・鈴木 岳穂	我妻 順子 山田 恵美	